

水道管が凍って破裂する前に

水道管の冬支度をしましょう

寒さの厳しい季節になってきました。

水道管も冬支度をして凍結による破裂を防ぎましょう。



夜の冷え込みに注意

気温がマイナス4度以下になると、防寒対策が不完全な水道は凍ったり水道管が破裂したりすることがあります。特に凍結や破裂の被害が多い水道管は、むき出しになっていたり、風当たりの強い場所にあるものです。

防寒の方法

管に保温材(毛布や布など)を巻きます。蛇口も破裂しやすいので、上

まで完全に包みます。その上からビニールなどを巻き、保温材が濡れないようにします。地下式のメーターボックスの中にも保温材を入れ、上に段ボールなどを乗せて保温します。

水道が凍って水が出ないとき

●タオルをかぶせ、上からゆつくりとぬるま湯をかけて解かします。急に熱湯をかけると水道管や蛇口が破裂することがあります。

水道管が破裂したとき

元栓を閉めて水を止め、修理依頼は、多久市指定の水道工事店へ直接ご連絡ください。

問い合わせ 水道課

☎ 75-3003

平成18年12月1日付

多久市職員人事異動

平成18年12月1日付けで次のとおり多久市職員の人事異動が発令されました。

《課長級》

▽くらし部人権・同和対策課長(兼)

会計課長(併) 水道課経理係長 梶

原栄三▽市立病院事務長 古賀通雄

▽総務課付き 平山豊

《新規採用》

▽市立病院 古賀里美

市議会 市定例

総合運動場内の舗装路整備など

一般会計に2億2千793万円追加

市議会定例会が12月4日から19日までの16日間の会期で開かれました。平成18年度多久市一般会計補正予算など27議案について審議され、いずれも原案どおり可決されました。主な議案は次のとおりです。

▼平成18年度一般会計補正予算

今回の補正は、給与制度の抜本改定と人事異動による人件費の増減を中心とするもので、その他、福祉施設の改築補助金、普通建設事業の事業費追加、災害復旧事業などを主な内容とするものです。

補正額は歳入歳出それぞれ2億2千793万円です。これによる平成18年度の歳入歳出予算の総額は、100億582万4千円となります。

歳出予算の主なもの、しみず園改築補助金3千万円・社会福祉会館屋根改修費850万円・次世代育成支援対策施設整備費交付金6千702万6千円・道整備交付金事業830万円・総合運動場内の舗装路整備1千万円・災害復旧費は総額2千403万6千円となっています。

▼多久市定住促進条例の制定

少子高齢化の進展、人口の市外流出などの対策として、協議、検討を

行ってきたおり、その指針として「多久市定住促進基本計画」を策定し、その計画を具体化するために、多久市定住促進条例の制定を行います。

内容

①定住奨励事業として、転入奨励金と、持ち家奨励金の制度②雇用者定住促進奨励事業③住宅関連施設整備事業

期間 平成19、20年度の2年間

▼後期高齢者医療広域連合の設置

健康保険法等の改正により、75歳以上の後期高齢者について、独立した医療制度を創設し、その事務を共同処理するため都道府県ごとの広域連合を平成18年度末日までに設置するようになっています。

佐賀県後期高齢者医療広域連合は、県内すべての自治体加入するため、各市町の議会の承認を得て、平成19年2月1日に設立するものです。

▼多久市特定公共賃貸住宅条例の制定

多久ステーション南ハイツ駐車場条例の制定

多久市水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例

多久市過疎地域自立促進計画の変更
佐賀県市町総合事務組合の設置